

庭を楽しむ暮らし／幸せになれる家／【保存版】話題の家具&インテリアetc...

SUMAI

no
SEKKEI

住まいの設計

SEP./OCT. 2010

【隔月刊】

No.630

1200YEN

軽井沢でつけた
ガーデンデザイナーの
「育て楽しむ庭」

建築家が提案する
庭を取り込む家づくり

【新連載】

Remarkable
HOUSE

建築家の
「こんな家に住みたい!」

庭を楽しむ
豊かな暮らし

【巻頭総力特集】

【編り込み保存版】

今、インテリアに敏感な人は、
どこで何を買っているか?

My Best
Interior
2010

そう、欲しかったのはこんな暮らし
家にいるだけで、
幸せになれる家

愛犬と家族のように暮らせる家
風景画のような大きな窓のある家 ほか

09

感覚的に惹かれた
優しい白の粉引きの急須に
めぐり合いました。
酒井俊彦(プロダクトデザイナー)



器は食事の質を左右します。たとえば急須。食後のお茶は淹れるもので味や雰囲気が変わります。以前のものもお気に入り、口が折れるたび継いで使っていましたが、3回目に断念しました。その後、気に入ったものがなく3年探して、

これに。たまたま、恵比寿三越で出会ったものです。強烈に惹かれたというよりは、妻と二人で「これでいいね」という感覚で購入しました。長く使うものはこういう決め方の方がうまく付き合える気がします。



Toshihiko Sakai * プロダクトデザイナー。1964年高知生まれ。'92年サカイデザインアソシエイツ設立。新作は「Wallmug Tower」という水だしのお茶とコーヒーをつくるポット(Rivers)。
<http://www.sakaidesign.com>

08

不思議な温かみや表情で
惹きつけるアダムのパウルと
馬のオブジェ。
作原文子(インテリアスタイリスト)



陶芸家、アダム・シルヴァーマンの作品は、食卓用に小さなパウルやキャンドルホルダーなどを愛用していますが、今年のプレイマウンテンの個展でも新しいアイテムを。少しずつ手に入れるのが楽しみです。心をなごませる不思議

な温かみがあり、色合いも美しく、シンプルなのに不思議な存在感が。馬のオブジェは、その優しい表情や立派なつくり一度見たら忘れられない、心を惹きつける魅力が。LAのマーケットで買いました。



Fumiko Sakuhara * インテリアスタイリスト。岩立通子氏のアシスタントを経て'96年に独立。この夏、黒田美津子氏や川合将人氏、ランドスケープと共に軽井沢でイベントを企画。詳細は
<http://extentionstore.blogspot.com>

11

和でも洋でも料理が映える
石原稔久さんの大皿に
ひと目惚れしました。
オズボーン未奈子(料理家)



葉山のギャラリー「ARAHABAKI」さんの展示会でお菓子をつくらせていただき、福岡で作陶している石原さんの器に盛り付けました。そのとき、出展されていたこの大皿にひと目惚れして買いました。素朴でシンプルですが味わいがあります。

手びねりで一気に作り上げた印象的なカタチです。フルーツを置いてもいいし、パスタなど、どーんと盛り付ければ迫力があるのでそれだけでテーブルが豪華に。和でも洋でもどんな料理にも合う包容力も好きです。



Minako Osborne * 料理家。「にぎにぎ」を経て、'08年独立。雑誌・書籍・広告などで活躍中。近著は「VEGGIEDISCOのレシピノート・くり返し作りたい自然おやつ」(毎日コミュニケーションズ)。
<http://www.minako-osborne.com>

10

美しい木目の模型のような
農舞台のインセンスポットに
癒されます。
関本竜太(建築家)



お香が好きで、職場ではいつも焚いています。リラックス効果からか集中力が上がり、仕事の能率が上がるような気がします。美しい木目のインセンスポットは、新潟県のまつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」のミュージアム

ショップで購入。(たしか4000円で)これを窓辺にほかの住宅模型と一緒に並べて置いておくともモラスで、自分もこのくらいシンプルな家を設計してみたいと思えてきます。煙突の穴から煙が出るのも楽しい発想です。



Ryota Sekimoto * 建築家。1971年埼玉生まれ。'94年日本大学理工学部建築学科卒業、フィンランド留学を経て、2002年リョータデザイン設立。小住宅、二世帯住宅などを中心に設計活動を行う。
<http://www.riotadesign.com>